

2級 (T)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
つきやま	は	か	くらやみ	し	かたひじ	さ	う	いしうす	つ	し	きようらく	けんばん	せったく	し	ほうちく	そうと	かいきん	しゃめん	こっけい	ちよくがん	かもん	あいかん	ぐんじよう	ちようか	ざんしん	せいそう	ぎようてん	そうにゆう	せんさい

1×30 (30)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ウ	オ	ア	エ	ア	エ	イ	ア

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
力	巾	四	舟	凵	氷	頁	冂	土	羊

(二) 部首 (10) 1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2
キ	コ	イ	ケ	ウ	意味

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
金城	汗牛	大慈	隱忍	謹嚴	必衰	息災	玉食	虎皮	内剛	書き取り

(四) 四字熟語 (30) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
喪	藻	巨費	拒否	悠久	有給	移管	遺憾	騰貴	陶器

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
殊勲	他界	緒言	快癒	捻出	貫徹	分割	懲罰	丁寧	狭量

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
偵察	拘泥	成就	索引	頂戴

(九) 書き取り (50) 2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1
煩わしく	慕わ	憩う	統べる	悔いる

(八) 漢字と送りかな (10) 2×5

5	4	3	2	1	
恐	融	液	奇	弊	誤
脅	猶	疫	危	幣	正

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
渴	押	水泡	繭	干潟	担	湧	阻	過	促	醸	磨	病巣	老若	肥沃	転嫁	薰風	登竜門	披露	一旦

準2級 (T)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
あ	も	か	ほ	う	う	も	さ	あ	ほ	じ	ほう	あ	ぞ	ひ	ま	け	き	し	か	こ	じ	ほ	ぎ	り	に	し	こ	け	そ
ま	ど	ま	ら	が	み	も	え	わ	い	ょう	かつ	ね	う	ん	も	つ	ん	ん	っ	ん	ん	ん	ゃ	う	う	く	ん	う	
(一) 読み (30) 1×30																													

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	エ	ウ	イ	エ	イ	オ	ア	ウ	ア
(三) 熟語の構成 (20) 2×10									

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
火	十	六	大	冫	彳	隹	戸	人	齊
(二) 部首 (10) 1×10									

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
コ	カ	ア	キ	イ	意味	俗	慨	枯	平	尾	是	拳	凶	劣	憾	書き取り
(四) 四字熟語 (30) 2×5																

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問
柄	重	抵	偵	織	占	疎	粗	疫	役	意味
(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10										

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
冷	左	幽	忍	匹	過	凡	中	簡	添
淡	遷	閉	耐	敵	剩	才	枢	略	加
(五) 対義語・類義語 (20) 2×10									

5	4	3	2	1	問
琴	騒	黙	貫	紙	書き取り
線	々	想	通	幣	意味
(九) 書き取り (50) 2×25					

5	4	3	2	1	問
碎	催	震	惑	誇	漢字と送りかな
け	す	える	わ	らしい	意味
(八) 漢字と送りかな (10) 2×5					

5	4	3	2	1	問
頒	拋	薦	窮	礼	誤字訂正
販	去	鮮	糾	麗	意味
(七) 誤字訂正 (10) 2×5					

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
憎	飢	祈	夜	居	麻	箱	沸	甚	威	柔	清	核	症	湾	駄	娛	免	膨	弾
			露	眠	縄	詰			嚇	軟	涼	心	状	岸	賃	楽	税	大	力

(下へつづく)

3級 (T)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
お	た	う	に	あ	く	か	な	き	か	だ	ぎ	け	き	ほ	こ	ち	き	が	す	さ	そ	け	ひ	だ	が	え	げ	こ	き
ど	ず	ら	た			ね	ま	た	た	ん	ょう	い	よ	う	う	ゅう	ん	い	い	し	い	ょう	つ	は	い	ん	め	と	よ
	さ								ま	り	し	しゃ	せい	めん	ぼ	しょう	こう	さん	やく	そく	し	はつ	う	ろう	はく	たん	つ	う	しょう

1×30 (30)

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	エ	イ	オ	イ	ア	ア	オ	エ	ウ	イ	ア	オ	エ	ウ
溶	研	遂	錠	譲	冗	募	墓	慕	逃	凍	陶	賦	赴	符

2×15 (30)

5	4	3	2	1
工	コ	オ	ク	ケ
掃	隔	蛮	苗	掲

2×5 (10)

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	イ	オ	ウ	ア	エ	イ	ウ	エ	エ

2×10 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ア	イ	ウ	ア	エ	イ	ア	エ
ロ	行	シ	夕	受	舛	ハ	衣	声	戈

1×10 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
勉	参	担	品	籍	暗	匿	従	速	奮

2×10 (20)

5	4	3	2	1
飽	焦	倒	著	構
きる	がさ	れ	しく	える

2×5 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
集	全	錯	垂	回	大	千	失	意	独
散	靈	誤	範	生	器	客	望	気	断

2×10 (20)

5	4	3	2	1	
激	寄	仕	延	操	誤
撃	規	飼	円	装	正

2×5 (10)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
干	埋	乳	桃	冠	退	指	憎	彫	斜	有	食	常	優	同	基	分	犧	儉	安
上		搾				輪		刻	面	効	卓	駐	秀	伴	礎	裂	牲	約	眠

2×20 (40)

4級 (T)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ひ	ま	ふ	せ	し	さ	で		か	の	け	い	ぶ	ら	か	ひ	て	じ	び	き	い	し	が	ひ	も	こ	せ	た	せ	し
よ	め	ち	ば	ず	わ	は	つ	み	き	い	せ	よ	く	び	な	ん	じ	り	は	じ	き	ん	く	く	ま	い	し	え	う
り	つ	ぶ	く	く	わ	ら		か	さ	せ	い	う	ら	ん	ん	じ	よ	く	く	ん	い	ん	さん	げ	ん	ん	ん	ん	れ

1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ア	イ	イ	オ	ウ	イ	エ	ア	イ	オ	ウ	オ	ウ	エ
振	殖	吹	創	燥	僧	壊	介	皆	唐	盗	倒	暇	菓	箇

2×15

5	4	3	2	1
イ	ケ	オ	ア	ク
及	黙	迎	望	狂

2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	イ	ウ	ア	エ	ア	オ	イ	ウ	エ

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	ウ	エ	イ	ア	エ	ウ	ア	イ
頁	士	心	行	り	立	止	戸	見	じ

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
弁	警	案	絡	従	却	清	閉	盟	冷

2×10

5	4	3	2	1
詳	争	告	失	恥
しく	う	げる	っ	じる

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
城	異	亡	雲	団	欲	堅	奇	馬	得

2×10

5	4	3	2	1	
与	速	集	署	細	誤
予	測	収	暑	採	正

2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
世	除	物	技	珍	刷	沖	一	円	連	上	満	爆	巨	交	監	治	香	混	朱
渡		陰					匹	陣	動	旬	杯	弾	体	互	禁	療	水	雑	

2×20

5級 (T)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
か	は	き	れ	か	と	ち	い	か	し	ひ	そ	じ	お	く	た	か	こ	な	う
ぶ	い	よ	い	ん	た	そ	よ	わ	ゅう	け	な	ょう	さ	び	あ	し	し	い	つ
		う	ぞ	け	う	う	く	ぞ	き	つ		そ	な	す	し	あ	う	か	

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
14	1	11	7	10	8	6	4	6	2

(三) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	あ	イ	き	コ	え	才	か	ケ	く

(二) 部首と部首名記号 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ウ	イ	ア	ウ	エ	ア	イ	ウ	ア

(五) 音と訓(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
預ける	済ます	並ぶ	暮れる	難しい

(四) 漢字と送りかなひらがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
優	樹	己	値	割	背	革	臨	未	縦

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
警	単	衆	磁	臓	遺	専	論	疑	秘

(六) 四字の熟語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
副	腹	系	径	制	聖	覧	乱	潮	塩

(十) 同じ読み方の漢字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	イ	ア	エ	ア	イ	ア	エ	ウ

(九) 熟語の構成(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
カ	オ	ウ	ケ	ク
エ	イ	ア	キ	コ

(八) 熟語作り記号 (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
忘	危	捨	包	拝	頭	誕	異	延	朗	拡	訳	従	派	棒	貴	泉	骨	乳	姿
	険		装		脳	生		期	読	張			手		重				

(土) 漢字 (40) 2×20

6級 (T)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ま	おりもの	しょうひせい	きゅうぎ	いま	いきお	こころがま	ゆそう	にっぺい	せいぎかん	ぎんが	こくさい	ひき	せつち	いとな	こうきあつ	ささ	けわ	きょうみ	よ

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
コ	シ	ウ	木	才	之	ク	貝	イ	广

(二) 漢字と送りかなひらがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	イ	エ	イ	ウ	イ	エ	エ	ウ	ア

(五) じゅく語の構成記号 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
11	3	12	3	16	13	10	8	12	9

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
態	職	絶	保	容	解	祖	基	可	賛

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
現	均	再	統	効	幹	酸	久	非	責

(六) 三字のじゅく語(一字) (20) 2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1
仮	価	過	径	経	熱	厚	謝	舎

(十) 同じ読み漢字 (18) 2×9

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ア	イ	ウ	ア	エ	イ	ウ	ア	ウ

(九) 音と訓記号 (20) 2×10

6	5	4	3	2	1
ア	ケ	キ	イ	ク	サ

(八) じゅく語作り(記号) (12) 2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
損	飼育	比	限	指導	示	建築	逆	招	歴史	仏像	増	演	独唱	似	境	事故	桜	弁当	豊

(十一) 漢字 (40) 2×20

7級 (T)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
つ	こつき	せい	しぜん	じゅんちよう	かくち	やぶ	お	しゅげい	いるい	あつ	なわ	とうひよう	た	しず	あ	ようやく	しきてん	む	のこ

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	イ	ア	ウ	ア	イ	ア	ウ	ウ	イ

(三) 漢字えらび(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
くびわ	さんりんしゃ	ねが	がんしょ	すえ	しゅうまつ	ま	さんかん	たよ	べんり

(二) 読み (10) 1×10

5	4	3	2	1
功	未	浅	差	席

(六) 対義語(一字) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	ア	ア	イ	イ	ア	イ	ア	イ

(五) 音読み・訓読み(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
総画数					何画目				
16	6	14	13	8	13	1	3	4	7

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

ウ			イ			ア			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
清	満	浴	漁	節	笑	管	達	連	辺

(八) 同じ部首の漢字 (20) 2×10

7	6	5	4	3	2	1
努める	養う	帯びる	続き	試みる	固く	結ぶ

(七) 漢字と送りかな(ひらがな) (14) 2×7

五		四		三		二		一	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
才	イ	ウ	工	才	ア	ア	ウ	イ	工

(十) じゅく語作り(記号) (20) 2×10

8	7	6	5	4	3	2	1
候	好	良	料	害	街	競	共

(九) 同じ読み漢字 (16) 2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
焼	陸	加	英	栄	伝	鏡	束	芽	録	標	景	徳	極	唱	働	給	司	照	低

(十一) 漢字 (40) 2×20

2022年度 第2回 日本漢字能力検定

標準解答(こたえ)

検定日 2022年11月4日

（社）日本漢字能力検定協会

(一) つぎの線の漢字の読みがなを線の右に書きなさい。

30 1X30

- 1 雨上がりの空に美しいじがかる。
2 音楽の時間にみんなどうもをふいた。
3 グループごにろう下に整列する。
4 図かんでまき貝の化石を見た。
5 調べたことを文章にまとめる。
6 石につまづいて足の指にけがをした。
7 農家の人が畑をたがやしている。
8 雲の切れ間から太陽の光がもれる。
9 そろそろ道具をロッカーにしまう。
10 学級を代表してあいさつする。
11 ままじやくを使つて長さをはかる。
12 校庭に大きないちようの木がある。
13 今と昔のくらしをくらべてみる。
14 朝早く外に出ると息が白く見えた。
15 バスの出発が少しおくれた。
16 ランドセルにお守りをつける。
17 炭で火をおこして肉をやく。
18 リンゴを皮ごと丸かじりする。
19 赤ちゃんが幸せそうにねむっている。
20 通学路のところで歩道橋がある。

商 面 漢 宿 梟
(6) (5) (11) (10) (7)
薬 屋 受 着 球
(16) (9) (8) (12) (11)

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに書きますか。○の中に数字を書きなさい。

(三) (一) の中に漢字を書いて、上のはんたいの読みのことばにしなさい。

- 一部 (全) 部
止まる (進) む
たおれる (起) きる
寒い (暑) い
自分 (他) 人

(四) おなじなかまの漢字を□の中に書きなさい。

たけかんむり... 本箱・絵筆
いとへん... 終業式・緑色
しんにょう... 遊び場・追う
こころ... 注意・悲しむ
さんずい... 洋服・波音

(五) つぎの(一) の中に漢字を書きなさい。

- 妹はマッド連(動)がどくだ。
グリム(童)話の本を買ってもらう。
はじめて学級(委)員にえらばれた。
歯がいたくて歯(医)者にみてもらう。
きれいな花の写(真)をかべにはった。
ほけん室で(身)長と体重をはかった。
町の図書(館)で絵本を三つかりた。
詩を読んでノートに(感)想を書く。
世(界)地図で北きよく海をさがす。
マンションの五(階)に住んでいる。

(六) つぎの線のカタカナを○の中の漢字を(10)25 おくりがなひらがなで□の中に書きなさい。

1 流 夜空をナガレル星を見た。
2 深 高原はフカイきりにつまれた。
3 始 赤組と白組のつな引きがハジマル。
4 配 遠足のしおりをクバル。
5 育 母がくまが二頭の子くまをソナダレル。
育てる

(七) つぎの線の漢字の読みがなを線の右に書きなさい。

- 味方の選手にボールをパスする。
もらったあめはレモンの味がした。
おばは旅行会社につとめている。
旅先で名物のまんじゅうを食べた。
算数のむずかしい問題がとけた。
先生の問いによく考えて答える。
来週の漢字テストで実力をためす。
秋になると、うら山のくりが実る。
バスの中は多くの乗客でこんでいた。
駅前からタクシーに乗って帰った。

(八) つぎの□の中に漢字を書きなさい。

1 計算ドリルで、かけ算やわり算の練習をする。
2 消しゴムをかしてくれた友だちにお礼を言う。
3 植え、日の当たる場所に置く。
4 交番の近くで新しい電柱に取りかえる工事をしていった。
5 湖の中、中央にある島までボートで行く。
6 弟を相手にすもうをとって負けてしまった。
7 キャンプに持っていくコップやお皿をそろえる。
8 温かいこう茶にミルクを入れて飲む。
9 プランターにパンジーのなえを植える。
10 教室の後ろの黒板に一週間の予定が書いてある。

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。
○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

【不許複製】

おわり

(一) つぎの文をよんで、—せんどの漢字の(22)1X22
よみがなを—せんどの右にかきなさい。

1 野(や)さいがたくさん入(い)った

カレーを食(た)べた。

2 生(せい)活(かつ)科(か)の町(まち)たんけんて

どんな人(ひと)に会(あ)って話(わ)を

聞(き)きたいか(か)を考(かん)える。

3 父(ちち)は毎(まい)ばん、火(ひ)の元(もと)と

戸(と)じまりをたしかめる。

4 へやの中(なか)にあるもの(もの)の長(なが)さを

はか(か)って、算(さん)数(すう)のノ(の)ートに

記(き)ろくした。

5 太(たい)ようがてりつ(つ)ける広(ひろ)い

さばくを二(に)頭(づ)頭の(づ)らくだ(だ)が

ゆ(ゆ)っくりと歩(あ)で歩いてる。

6 牛(うし)にゆ(ゆ)うをの(の)もうど思(おも)って

台(だい)どころに行(い)くと、母(はは)が

米(こめ)をどい(ど)いでいた。

(二) つぎの漢(かん)字(じ)のふ(ふ)い(い)ころは(は)なん(なん)に(に)
か(か)きなさい。○の中(なか)に(に)ち(ち)ょう(じょう)字(じ)を(を)か(か)きなさい。

肉(にく) 4
麦(むぎ) 5
組(くみ) 10
理(り) 9
寺(てら) 2
多(おほく) 6
門(かど) 8
南(みなみ) 9
晴(はる) 12
西(にし) 6

(三) □に(に)ひ(ひ)ら(ら)が(が)な(な)を(を)一(いち)字(じ)か(か)いて(いて)つ(つ)ぎ(ぎ)の(の)
こ(こ)と(と)は(は)の(の)よ(よ)み(み)を(を)こ(こ)た(た)え(え)な(な)さい。

金(きん)魚(ぎょ) …… きんぎょ
三(さん)角(かく) …… さんかく
夕(ゆふ)方(ぽう) …… ゆうがた
店(みせ)内(うち) …… てんない
通(つう)学(がく) …… つうがく

(四) ○の(の)こ(こ)ろ(ろ)は(は)な(な)る(る)か(か)、と(と)め(め)る(る)か(か)、
正(ただ)し(しい)か(か)か(か)た(た)で(で)○(まる)の中(なか)に(に)か(か)きなさい。

鳴(な)き声(こゑ) 高(たか)い山(やま)
作(しやく)る 風(かぜ)船(ふね)

(五) つぎの文(ぶん)を(を)よんで、—せんどの漢(かん)字(じ)の(の)
よ(よ)みが(が)な(な)を(を)—せんどの右(みぎ)に(に)か(か)きなさい。

み(み)ん(なん)で(で)校(こう)歌(か)を(を)れ(れ)ん(ん)し(し)ゆう(ゆう)す(す)る。
ラ(ら)ジ(じ)オ(お)か(か)ら(ら)歌(うた)が(が)聞(き)こ(こ)え(え)る。
本(ほん)当(とう)の(の)こ(こ)と(と)を(を)正(ただ)直(ちき)に(に)話(わ)す。
く(く)じ(じ)び(び)き(き)で(で)テ(て)レ(れ)ビ(び)が(が)当(あ)た(た)つ(つ)た。
キ(き)ャ(ゃ)ンプ(ぷ)の(の)計(けい)画(かく)を(を)立(た)てる。
五(ご)十(じゅう)メ(メ)ー(ー)トル(トル)走(は)る(る)の(の)タ(タイム)イ(ム)を(を)計(はか)る。
来(らい)月(げつ)の(の)よ(よ)て(て)い(い)ひ(ひ)よう(よう)を(を)も(も)ら(ら)う。
ま(ま)つ(つ)て(て)い(い)る(る)バ(バ)ス(ス)が(が)ま(まだ)来(こ)ない。
体(たい)い(い)く(く)て(て)マ(マ)ツ(ツ)ト(ト)う(う)ん(ん)ど(ど)う(どう)を(を)し(し)た。
ふ(ふ)ろ(ろ)で(で)体(たい)を(を)きれ(れ)いに(に)あ(あ)ら(ら)う。
—う(う)ら(ら)へ(へ)つ(つ)く—

(六) つぎの(つぎ)の(の)漢(かん)字(じ)の(の)ひ(ひ)ら(ら)が(が)な(な)を(を)漢(かん)字(じ)で(で)
ほ(ほ)う(う)の(の)ほ(ほん)ご(ご)う(う)に(に)○(まる)を(を)つ(つ)け(け)な(な)さい。正(ただ)し(しい)

新(しん)子(こ) 1
親(おや)子(こ) 2
谷(や)川(がわ) 1
答(こた)え 2
一(いち)万(まん)円(えん) 1
一(いち)刀(とう) 2
少(せう)ない 1
早(そう)原(げん) 2
目(め)分(ぶん) 1
自(じ)分(ぶん) 2

(八) つぎの(つぎ)の(の)漢(かん)字(じ)の(の)中(なか)に(に)漢(かん)字(じ)を(を)か(か)きなさい。

黒(くろ) 前(まえ) 白(しろ) 後(あと) 空(うら) 海(うみ) 兄(あに) 弟(おとう) 春(あき) 秋(あき) 馬(うま) 牛(うし) 遠(とほ)い 近(ちか)い 売(う)る 買(か)う 止(とど)まる すすむ

(九) つぎの(つぎ)の(の)文(ぶん)を(を)よんで、□(まる)の中(なか)に(に)漢(かん)字(じ)を(を)か(か)きなさい。

日(ひ)休(やす)みに(に)う(う)ん(ん)ど(ど)う(どう)場(じやう)で(で) 昼(ひる) ころん(ど)で(で)け(け)が(が)し(し)た。
ほ(ほ)けん(けん)室(むろ)ま(ま)で(で)友(とも)だ(だ)ち(ち)が(が) 黄(わう)色(しき)い(い)花(はな)の(の)ま(ま)わり(りを) っ(つ)いて(いて)き(き)て(て)く(く)れた。
み(み)つ(つ)ば(ば)ち(ち)が(が)と(と)ん(ん)で(で)い(い)る。

(七) れい(れい)の(の)よ(よ)う(う)に(に)お(お)な(な)じ(じ)な(な)か(か)ま(ま)の(の)漢(かん)字(じ)を(を)

雨(あめ) 雲(うみ) 大(だい)雪(ゆき) 女(にょ) お(お)姉(ねえ)さん(さん)・妹(いもうと) 引(ひ)き 強(つよ)い(い)・つ(つ)な(な)引(ひ)き 回(まわ)る(る)・よ(よ)う(う)ち(ち)園(えん) 糸(いと) …… 手(て)紙(がみ)・電(でん)線(せん)

お(お)茶(ちや)が(が)お(お)い(い)し(しい)い(い)。

と(と)、お(お)ば(ば)あ(あ)さん(さん)が(が)言(い)った(た)。
す(す)きな(な)ので(で)、
ぼ(ぼ)く(く)は(は)絵(え)を(を)か(か)くの(の)が
時(じ)間(かん)が(が)楽(たの)しみ(み)だ(だ)。
先(せん)週(しゅう)の(の)漢(かん)字(じ)テ(テスト)ス(ト)は
百(ひゃく)点(てん)だ(だ)った(た)。
夜(よる)、東(ひがし)の(の)空(あか)に(に)明(あ)る(る)く
光(ひか)る(る)星(ほし)を(を)見(み)つ(つ)け(け)た(た)。
外(がい)国(こく)の(の)人(ひと)に(に)道(みち)を(を) 交(こう)番(ばん)の(の)お(お)ま(ま)わり(りを)さん(さん)が(が) 教(おし)えて(いて)い(い)る(る)。

○この答(こた)えを(を)見(み)て、書(か)けな(な)か(か)つ(つ)た(た)こ(こ)ろ(ろ)は(は)ど(どこ)か(か)、ま(ま)ち(ち)が(が)つ(つ)た(た)こ(こ)ろ(ろ)は(は)ど(どこ)か、し(し)っ(し)かり(り)た(た)し(し)か(か)め(め)て(て)く(く)だ(だ)さい。

○書(か)けな(な)か(か)つ(つ)た(た)字(じ)や(や)、ま(ま)ち(ち)が(が)つ(つ)た(た)こ(こ)ろ(ろ)は(は)、そ(その)の(の)ま(ま)ま(ま)に(に)し(し)な(な)い(い)で(で)、す(すぐ)ぐ(ぐ)に(に)練(れん)習(じゆう)を(を)し(し)て(て)正(ただ)し(しい)く(く)お(お)ぼ(ぼ)え(え)ま(ま)し(し)よう(よう)。

1 村のまつりで、男の人たちが力をあわせてみこしをかついだ。

2 竹やぶの上にきれいな月がうかんでいる。

3 犬がまえ足でにわの土をほっている。

4 はりの小さなあなに糸をとおす。

5 雨がやんだあと空に七いろのじが出た。

6 先生がぼくの名まえをよんだので、へんじをして立ち上がった。

7 うまのおや子がひろい草げんをはしっている。

8 水そうのめだかにえさをやる。バケツに水を入れてはこぶ。

9 らい年もうみにいきたい。お年よりにあやとりをおそわる。

10 車(くるま)のまどをあける。

11 こん虫(こむし)ずかんをかってもらう。

12 てんとう虫(てんとうむし)がとんでいった。

13 さんご(さんご)のふといところはなんぼんにかきまますか。○のなかにすう字をかきなさい。

14 つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

林 立 左 小 貝 字
④ ② ③ ① ③ ⑤

年 青 先 水 草 六
⑥ ⑧ ⑥ ④ ⑨ ④

15 1つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

16 2つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

17 3つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

18 4つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

19 5つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

20 6つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

21 7つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

22 8つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

23 9つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

24 10つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

25 11つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

26 12つぎのぶんをよんで、—のなかにかん字をかきなさい。

10級 T

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

(不許複製)

4 つぎの ことばの よみがなを たたいて、ほうの ほんごうに ○をつきなさい。

1 ハ さい

2 は つ さい

1 だん ぢよ

2 だん じよ

1 ろく めい

2 ろく めい

1 くうちゅう

2 くうちゅう

1 じよおげ

2 じよおげ

1 ひらがなを一字かいて、つぎのことばの よみを こたえなさい。

(れい) ふじ山 …… ふじさん

左がわ …… ひだり がわ

玉入れ …… たま いれ

三つ …… み つつ

あく手 …… あく しゅ

千本 …… せん ぽん

6 つぎの □の なかに かん字を かきなさい。

林 …… 森

村 …… 町

草 …… 花

うみ …… 川

みみ …… 目

1 休みの日にいけて

おとうさんとつりをした。

ふなが …… 四ひきつれた。

2 らいしゅうの …… 火よう日に

ほけんしつて …… 耳の

けんきをうける。

3 石だんをかぞえると

4 十だんあった。

5 百円玉を五まい

6 ちよ金ばこに入れた。

7 音がくのじかんに

8 正しいしせいで、

9 口を大きくあけて

10 天気のよい日に

11 ちかくの山にのぼった。

12 わたしの学校が

13 よく見えた。

—おわり—